

質 問 回 答 書

平成22年2月17日

注)回答に当たって、質問内容は、適宜加工しています。

案件番号	22-C04M
案 件 名	平成22年度 医療廃棄物処理委託業務
案件場所	国保京丹波町病院・国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設

No	質問事項	質問内容	回 答
0	年間予定数量		<p>年間予定数量に誤りがあったため、数量を訂正します。</p> <p>数量変更に伴い仕様書及び入札書を併せて訂正します。</p> <p>なお、訂正前に入札書にて入札した者の入札は無効としますのでご注意ください。</p>
1	感染性廃棄物について	各所で使用している容器は何リットル容器を使用されていますか？	<p>仕様書の「7廃棄物梱包容器の提供」にも記載していますように、廃棄物梱包容器は必要量乙が提供することとなっている為、容器サイズは特に指定していません。ただし廃棄物保管場所まで当職員が持ち運べるサイズとすることとしています。</p> <p>参考として現在使用中のサイズは紙おむつは50リットル。血液・針等は20リットル・45リットル容器を使用している。</p>
2	感染性廃棄物について	1回当りの収集量は各所何箱ですか？ 回収頻度は？	<p>国保京丹波町病院の回収量は1回当たり紙おむつ50リットル容器約15個。血液・針等20リットル約14個・45リットル約10個。 回収頻度は紙おむつが週1回。血液・針等が月1回。</p> <p>国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設の保管場所は一緒に、回収量は1回当たり紙おむつ50リットル容器約18個。血液・針等20リットル約2個・45リットル約7個。 回収頻度は紙おむつが2週に1回。血液・針等が月1回。</p>
3	非感染性廃棄物について	各所で使用している非感染の袋は何リットルを使用されていますか？	<p>仕様書の「7廃棄物梱包容器の提供」にも記載していますように、廃棄物梱包容器は必要量乙が提供することとなっている為、容器サイズは特に指定していない。ただし廃棄物保管場所まで当職員が持ち運べるサイズとすること。</p> <p>参考として現在使用中のサイズは50リットルを使用している。</p>

No	質問事項	質問内容	回答
4	非感染性廃棄物について	1回当りの収集量は各所何袋ですか？ 回収頻度は？	国保京丹波町病院の回収量は1回当たり50リットル容器約4個。回収頻度は週1回。 国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設の保管場所は一緒に、回収量は1回当たり50リットル容器約4個。回収頻度は2週に1回。
5	入札参加資格について	弊社は収集運搬については可能ですが、処分は別業者の中間処理業者(別法人)を予定しており、関係法令上は、収集運搬と処分が別契約となりますが、この場合でも、入札参加は可能でしょうか？	仕様書の「9 資格等」にも記載していますように、入札参加者として、関係法令に基づく「産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の収集運搬に関する許可」(廃掃法第14条第1項及び第14の4第1項)を求めており、特に、感染性廃棄物については、特別管理産業廃棄物に該当することから、これらの許可を求めています。 また、医療廃棄物の処分については、関係法令に基づく「産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物の処分に関する許可」(廃掃法第14条第6項及び第14の4第6項)を受けた業者に再委託することができることとしており、本案件に係る収集運搬の許可を有していれば、入札に参加することができます。 なお、本案件の契約書については、京丹波町関係規程による長期継続契約の委託契約書による予定ですが、再委託に関しては、あらかじめ発注者の承諾を得ていただくこととなります。
6	廃棄物梱包容器の提供	感染性固形物(オムツ)ビニール袋ですが、分厚いビニール袋であれば1重でもよいでしょうか？	仕様書の「7廃棄物梱包容器の提供」にも記載していますように、オムツの容器は丈夫なプラスチック袋を2重にするか、堅牢な容器とする為、1重袋での収納容器は不可とする。 参考として現在使用中の容器はダンボール容器の中にプラスチック袋1重の2重収納容器を使用している。2重の収納容器は甲乙協議内容となるが原則感染性廃棄物の飛散・流出等の感染防止や、管理体制の観点から原則現在使用している容器(ダンボール容器の中にプラスチック袋を入れて収納)を希望する。

No	質問事項	質問内容	回答
7	廃棄物梱包容器の提供	感染性(鋭利物以外)現在ダンボール容器で分別されていますが今回の入札では分別されないのでしょうか?されるのであれば、ダンボール容器使用数を教えて下さい。	現段階では分別は仕様書の「4廃棄物の種類」にも記載しているように、感染性廃棄物(血液・針等)のプラスチック容器、感染性廃棄物(紙オムツ)のダンボール箱、非感染性廃棄物(廃プラスチック類)のダンボール箱のみです。それ以外の分別が発生した場合は甲乙協議で決定します。なお感染性廃棄物と非感染性廃棄物のダンボール収集容器は中身が容易に識別できる処置を講ずること。
8	廃棄物足踏み式ホルダー	廃棄物廃棄物梱包容器の足踏み式ホルダーの使用状況、使用であればメーカー・品番を教えて下さい。	現在、国保京丹波町病院・国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設では足踏み式ホルダーは使用していない。
9	回収日数	廃棄物の回収頻度、各回収場所を教えてください。	国保京丹波町病院の回収頻度は、感染性廃棄物(紙オムツ)と非感染性廃棄物(廃プラスチック類)は週1回。感染性廃棄物(血液・針等)は月1回。収集場所は国保京丹波町病院内の廃棄物保管倉庫。 国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設の保管場所は一緒の為、収集場所は国保京丹波町和知診療所内の廃棄物保管倉庫。回収頻度は感染性廃棄物(紙オムツ)と非感染性廃棄物(廃プラスチック類)は2週に1回。感染性廃棄物(血液・針等)は月1回。
10	回収量	1回収の回収量を教えてください。	国保京丹波町病院の回収量は1回当たり紙おむつ50リットル容器約15個。血液・針等20リットル約14個・45リットル約10個。 国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設の保管場所は一緒で、回収量は1回当たり紙おむつ50リットル容器約18個。血液・針等20リットル約2個・45リットル約7個。
11	入札参加業者	今回の入札に参加される業者を教えてください。	適正なる入札執行を阻害する恐れがあるため、事前公表いたしません。入札後、公表いたします。
12	現在の契約状況	現在の業者、単価を教えてください。	現在の契約業者及び単価は下記のとおりです。 契約業者:株式会社 京都環境保全公社 単価:①感染性廃棄物は、処分単価50円/リットル②感染性廃棄物(紙おむつ)処分単価10円/リットル③非感染性廃棄物処分単価15円/リットル(全て消費税抜き金額です。)

No	質問事項	質問内容	回答
13	廃棄物梱包容器の提供	廃液等が漏れない密閉容器の前年度の使用個数を教えて下さい。	上記7で回答したように、感染性廃棄物の液状又は泥状のものだけで分別していない。よって液状又は泥状のものだけがいった容器は使用していない。
14	予定数量の内訳	処理予定数量の各排出場所別内訳	仕様書の「5処理予定数量」の内訳 国保京丹波町病院 ・感染性廃棄物(血液・針等)11,000リットル ・感染性廃棄物(紙おむつ)42,500リットル ・非感染性廃棄物(廃プラスチック類)12,000リットル。 国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設 ・感染性廃棄物(血液・針等)4,500リットル ・感染性廃棄物(紙おむつ)25,000リットル ・非感染性廃棄物(廃プラスチック類)10,000リットル
15	容器	各排出場所が使用している容器の種類。又は希望	仕様書の「7廃棄物梱包容器の提供」にも記載していますように、廃棄物梱包容器は必要量乙が提供することとなっている為、容器サイズは特に指定していない。ただし廃棄物保管場所まで当職員が持ち運べるサイズとすること。 参考として現在使用中のサイズは紙おむつはダンボール箱50リットル容器。血液・針等は20リットル・45リットルのプラスチック容器。非感染性廃棄物はダンボール箱50リットル容器を使用している。 また仕様書の「7廃棄物梱包容器の提供」にも記載していますように、紙オムツの容器は丈夫なプラスチック袋を2重にするか、堅牢な容器としていますが、当院では原則感染性廃棄物の飛散・流出等の感染防止や、管理体制の観点から原則現在使用している容器(ダンボール箱の中にプラスチック袋を入れて収納)を希望する。その際、感染性廃棄物と非感染性廃棄物のダンボール収集容器は中身が容易に識別できる処置を講ずること。
16	回収頻度	各排出場所への回収(最低必要な)頻度	回収頻度は甲乙協議で決定しますが、医療廃棄物が運搬されるまでの保管は極力短期間が望ましい為、最低下記回収回数以上とする。 国保京丹波町病院 ・感染性廃棄物(血液・針等) 月1回 ・感染性廃棄物(紙オムツ) 週1回 ・非感染性廃棄物 週1回 国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設 ・感染性廃棄物(血液・針等) 月1回 ・感染性廃棄物(紙オムツ) 2週間に1回 ・非感染性廃棄物 2週間に1回

No	質問事項	質問内容	回答
17	回収時間	時間指定の有無(回収できない時間帯)	国保京丹波町病院・国保京丹波町和知診療所・京丹波町介護療養型老人保健施設での医療廃棄物回収時間は平日(月～金)の午前9時～午後5時とする。